

「新聞小説を読もう！」展示作品一覧

新聞小説とは、1回1200字から1600字ぐらい、連載期間は100回から300回ぐらいの作品である。内容は多数の読者が予想されるので、一般的、大衆的な作品が多い。普通の小説と特に異なるところは少ないが、毎回見せ場を作りながら全体としてのまとまりを持たせるために、独特の工夫が必要といわれる。おもしろい筋立て、軽快なテンポ、巧みな場面転換、登場人物の出し入れ、洒落な会話などに特徴がある。

＜～1910年代＞

連載開始	作品名	著者	富山市立図書館所蔵作品（今回展示する作品）
1897	金色夜叉	尾崎 紅葉	『日本現代文学全集 5』（講談社）
1903	乳姉妹	菊地 幽芳	『現代日本文学全集 第54編』（改造社）
1905	青春	小栗 風葉	『青春』（岩波書店）
1907	虞美人草	夏目 漱石	『漱石全集第4巻』（漱石全集刊行会）
1908	三四郎	夏目 漱石	『漱石全集第5巻』（漱石全集刊行会）
1908	春	島崎 藤村	『日本文学全集6』（新潮社）
1908	夢十夜	夏目 漱石	『現代日本文学館5』（文芸春秋）
1909	それから	夏目 漱石	『漱石全集第5巻』（漱石全集刊行会）
1909	煤煙	森田 草平	『煤煙 改版』（岩波書店）
1910	家	島崎 藤村	『日本文学全集7』（新潮社）
1910	門	夏目 漱石	『門 改版』（岩波書店）
1912	うき世	柳川 春葉	『現代日本文学全集 第55編』（改造社）
1912	行人	夏目 漱石	『漱石文学全集第7巻』（集英社）
1912	彼岸過迄	夏目 漱石	『彼岸過迄 改版』（新潮社）
1913	大菩薩峠	中里 介山	『国民の文学1』（河出書房新社）
1914	こころ	夏目 漱石	『漱石全集第8巻』（漱石全集刊行会）
1915	あらくれ	徳田 秋声	『日本文学全集11』（新潮社）
1916	明暗	夏目 漱石	『明暗』上・下（岩波書店）
1918	邪宗門	芥川 龍之介	『地獄変・邪宗門・好色・藪の中・他七編』（岩波文庫）
1919	友情	武者小路 実篤	『日本文学全集17』（新潮社）

＜1920～1930年代＞

1920	真珠婦人	菊地 寛	『真珠夫人』（アートブックス本の森）
1922	蔵	宮尾 登美子	『蔵』 上・下巻（毎日新聞社）
1924	痴人の愛	谷崎 潤一郎	『痴人の愛』（講談社）

1926	鳴門秘帖	吉川 英治	『吉川栄治全集 第2巻』
1927	新版大岡政談(丹下左膳)	林 不忘	『丹下左膳1～5巻』(山手書房新社)
1929	蓼喰ふ虫	谷崎 潤一郎	『日本文学全集43』(河出書房新社)
1929	浅草紅団	川端 康成	『川端康成全集第2』(新潮社)
1931	人間飢饉	村松 梢風	『大衆文学大系16』(講談社)
1932	女の一生	山本 有三	『日本文学全集17』(河出書房新社)
1934	丹下左膳	林 不忘	『丹下左膳1～5巻』(山手書房新社)
1935	宮本武蔵	吉川 英治	『吉川英治全集第17巻』(講談社)
1936	良人の貞操	吉屋 信子	『良人の貞操 上下巻』(毎日新聞社)
1936	空想部落	尾崎 士郎	『尾崎士郎全集』(講談社)
1937	路傍の石	山本 有三	『路傍の石』(新潮社)

<1940～1950年代>

1947	うず潮	林 芙美子	『林芙美子全集第12巻』(新潮社)
1947	青い山脈	石坂 洋次郎	『青い山脈 改訂』(ポプラ社)
1948	てんやわんや	獅子 文六	『てんやわんや』(毎日新聞社)
1949	少将滋幹の母	谷崎 潤一郎	『少将滋幹の母』(埼玉福祉会)
1950	舞姫	川端 康成	『舞姫』(新潮社)
1951	めし	林 芙美子	『林芙美子全集第18巻』(新潮社)
1952	花の生涯	舟橋 聖一	『日本歴史文学館26』(講談社)
1952	箱根の坂	司馬 遼太郎	『箱根の坂』上・中・下(講談社)
1952	花と竜	火野 葦平	『花と竜』(講談社)
1955	父子鷹	子母澤 寛	『父子鷹』1～5巻 (埼玉福祉会)
1956	氷壁	井上 靖	『氷壁』(新潮社)
1956	ゆうれい船	大佛 次郎	『ゆうれい船』(偕成社) ジュニア版
1958	私本太平記	吉川 英治	『吉川栄治全集40～43巻』(講談社)

<1960～1970年代>

1960	おとこ鷹	子母澤 寛	『おとこ鷹』上・下(新潮社)
1960	砂の器	松本 清張	『松本清張全集5』(文藝春秋)
1961	新・忠臣蔵	舟橋 聖一	『新・忠臣蔵1～4巻』(文藝春秋) 5～8巻・無
1961	女の勲章	山崎 豊子	『山崎豊子全集3』(新潮社)
1961	古都	川端 康成	『古都』(新潮社)

1961	若草物語	大岡 昇平	『事件』(新潮社) 改題
1962	午後の微笑	曾野 綾子	『曾野綾子選集3』(読売新聞社)
1962	季節のない街	山本 周五郎	『季節のない街』(新潮社)
1964	草の陰刻	松本 清張	『草の陰刻』(講談社)
1964	氷点	三浦 綾子	『三浦綾子小説選集1』(主婦の友社)
1964	続・氷点	三浦 綾子	『続 氷点』(朝日新聞社)
1966	峠	司馬 遼太郎	『峠』(新潮社)
1967	妖怪	司馬 遼太郎	『妖怪』(講談社)
1967	天皇の世紀	大佛 次郎	『天皇の世紀』(朝日新聞社)
1968	青春の蹉跎	石川 達三	『青春の蹉跎』(新潮社)
1968	冬の旅	立原 正秋	『冬の旅』(新潮社)
1969	花神	司馬 遼太郎	『花神』(新潮社)
1971	雄気堂々	城山 三郎	『雄気堂々』 上・下巻 (新潮社)
1972	翔ぶが如く	司馬 遼太郎	『翔ぶが如く』 1～10巻(文藝春秋)
1973	播磨灘物語	司馬 遼太郎	『司馬遼太郎全集33, 34』(文藝春秋)
1973	火の路	松本 清張	『火の路』(文芸春秋)
1974	複合汚染	有吉 佐和子	『複合汚染』(新潮社)
1976	胡蝶の夢	司馬 遼太郎	『胡蝶の夢』(新潮社)
1976	こちらニッポン…	小松 左京	『小松左京全集完全版6』(城西国際大学出版会)

<1980～1990年代>

1980	光る壁画	吉村 昭	『光る壁画』(新潮社)
1982	生きて行く私	宇野 千代	『生きて行く私』 上・下巻(毎日新聞社)
1982	迷走地図	松本 清張	『迷走地図』(新潮社)
1983	ドナウの旅人	宮本 輝	『ドナウの旅人』(朝日新聞社)
1984	霧の会議	松本 清張	『霧の会議』(文藝春秋)
1987	凧の光景	佐藤 愛子	『凧の光景』(朝日新聞社)
1988	天上の青	曾野 綾子	『天上の青』(毎日新聞社)
1989	満月の夜の伝説	ミヒヤエル・エンデ 佐藤真理子〔訳〕	『満月の夜の伝説』(岩波書店)
1989	麻酔	渡辺 淳一	『麻酔』(朝日新聞社)
1990	菊亭八百善の人びと	宮尾 登美子	『菊亭八百善の人びと』(新潮社)
1991	朝のガスパール	筒井 康隆	『朝のガスパール』(朝日新聞社)

1991	軽蔑	中上 健次	『軽蔑』(朝日新聞社)
1996	理由	宮部 みゆき	『理由』(朝日新聞社)
1997	イン ザ・ミソスープ	村上 龍	『インザ・ミソスープ』(読売新聞社)

<2000年以降>

2001	手紙	東野 圭吾	『手紙』(毎日新聞社)
2001	椿山課長の七日間	浅田 次郎	『椿山課長の七日間』(朝日新聞社)
2003	二百年の子供	大江 健三郎	『二百年の子供』(中央公論新社)
2004	魂萌え!	桐野 夏生	『魂萌え!』(毎日新聞社)
2005	女信長	佐藤 賢一	『女信長』(毎日新聞社)
2005	八日目の蟬	角田 光代	『八日目の蟬』(中央公論新社)
2005	ひとがた流し	北村 薫	『ひとがた流し』(朝日新聞社)
2006	川の光	松浦 寿輝	『川の光』(中央公論新社)
2006	悪人	吉田 修一	『悪人』(朝日新聞社)
2007	愛しの座敷わらし	荻原 浩	『愛しの座敷わらし』(朝日新聞社)
2008	横道世之介	吉田 修一	『横道世之介』(毎日新聞社)
2008	徒然王子	島田 雅彦	『徒然王子』(朝日新聞社)
2009	英雄の書	宮部 みゆき	『英雄の書』(毎日新聞社)
2009	下流の宴	林 真理子	『下流の宴』(毎日新聞社)
2010	三島屋変調百物語事続	宮部 みゆき	『あんじゅう』(中央公論新社)
2011	マルセル	高樹 のぶ子	『マルセル』(毎日新聞社)
2011	ペトロ	今野 敏	『ペトロ』(中央公論新社)
2011	ペテロの葬列	宮部 みゆき	『ペテロの葬列』(集英社)
2012	だから荒野	桐野 夏生	『だから荒野』(毎日新聞社)
2012	黒書院の六兵衛	浅田 次郎	『黒書院の六兵衛』(日本経済新聞出版社)
2012	聖痕	筒井 康隆	『聖痕』(新潮社)